

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンドの受益証券
	ダイワ・エマージング 高 金 利 債 券 マザーファンド	海外の債券
マザーファンドの 運 用 方 法	①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ. J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。 ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。 ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。 ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B 格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでB B -以上）とします。 ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配をすることがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ成長国 セレクト債券ファンド （毎月決算型）^{ナイン} （愛称：セレクト9）

運用報告書（全体版）

第79期（決算日	2016年8月15日）
第80期（決算日	2016年9月15日）
第81期（決算日	2016年10月17日）
第82期（決算日	2016年11月15日）
第83期（決算日	2016年12月15日）
第84期（決算日	2017年1月16日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）（愛称：セレクト9^{ナイン}）」は、このたび、第84期の決算を行ないました。

ここに、第79期～第84期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭ グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 配 分 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
55期末(2014年 8月15日)	7,592	80	△ 0.2	14,395	△ 0.2	96.7	88,636
56期末(2014年 9月16日)	7,666	80	2.0	14,634	1.7	94.5	90,129
57期末(2014年10月15日)	7,489	80	△ 1.3	14,523	△ 0.8	96.6	88,645
58期末(2014年11月17日)	7,948	80	7.2	15,457	6.4	97.6	91,820
59期末(2014年12月15日)	7,726	80	△ 1.8	14,977	△ 3.1	97.1	87,143
60期末(2015年 1月15日)	7,640	80	△ 0.1	14,900	△ 0.5	96.2	86,364
61期末(2015年 2月16日)	7,455	80	△ 1.4	14,855	△ 0.3	96.5	84,172
62期末(2015年 3月16日)	7,044	80	△ 4.4	14,198	△ 4.4	95.8	79,480
63期末(2015年 4月15日)	7,078	80	1.6	14,723	3.7	95.5	77,845
64期末(2015年 5月15日)	7,127	80	1.8	14,886	1.1	95.6	76,877
65期末(2015年 6月15日)	7,032	80	△ 0.2	14,751	△ 0.9	95.6	74,034
66期末(2015年 7月15日)	6,949	65	△ 0.3	14,783	0.2	96.0	71,070
67期末(2015年 8月17日)	6,562	65	△ 4.6	14,136	△ 4.4	94.4	62,960
68期末(2015年 9月15日)	6,053	65	△ 6.8	13,022	△ 7.9	94.4	55,620
69期末(2015年10月15日)	6,119	65	2.2	13,420	3.1	94.7	54,852
70期末(2015年11月16日)	6,051	65	△ 0.0	13,460	0.3	95.6	52,785
71期末(2015年12月15日)	5,748	65	△ 3.9	12,791	△ 5.0	95.8	48,818
72期末(2016年 1月15日)	5,493	65	△ 3.3	12,399	△ 3.1	96.0	45,655
73期末(2016年 2月15日)	5,274	65	△ 2.8	12,244	△ 1.2	95.7	43,084
74期末(2016年 3月15日)	5,500	65	5.5	13,023	6.4	96.0	44,374
75期末(2016年 4月15日)	5,434	65	△ 0.0	13,145	0.9	96.0	43,422
76期末(2016年 5月16日)	5,219	65	△ 2.8	12,793	△ 2.7	94.0	41,409
77期末(2016年 6月15日)	5,004	65	△ 2.9	12,421	△ 2.9	96.3	39,009
78期末(2016年 7月15日)	5,143	50	3.8	13,075	5.3	95.7	39,490
79期末(2016年 8月15日)	4,955	50	△ 2.7	12,766	△ 2.4	95.9	36,910
80期末(2016年 9月15日)	4,855	50	△ 1.0	12,605	△ 1.3	94.8	35,153
81期末(2016年10月17日)	4,919	50	2.3	12,919	2.5	95.0	34,985
82期末(2016年11月15日)	4,783	50	△ 1.7	12,407	△ 4.0	94.7	33,384
83期末(2016年12月15日)	5,193	50	9.6	13,870	11.8	94.5	35,477
84期末(2017年 1月16日)	5,039	50	△ 2.0	13,534	△ 2.4	94.2	33,839

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ＪＰモルガン ＧＢＩ－ＥＭグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、ＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

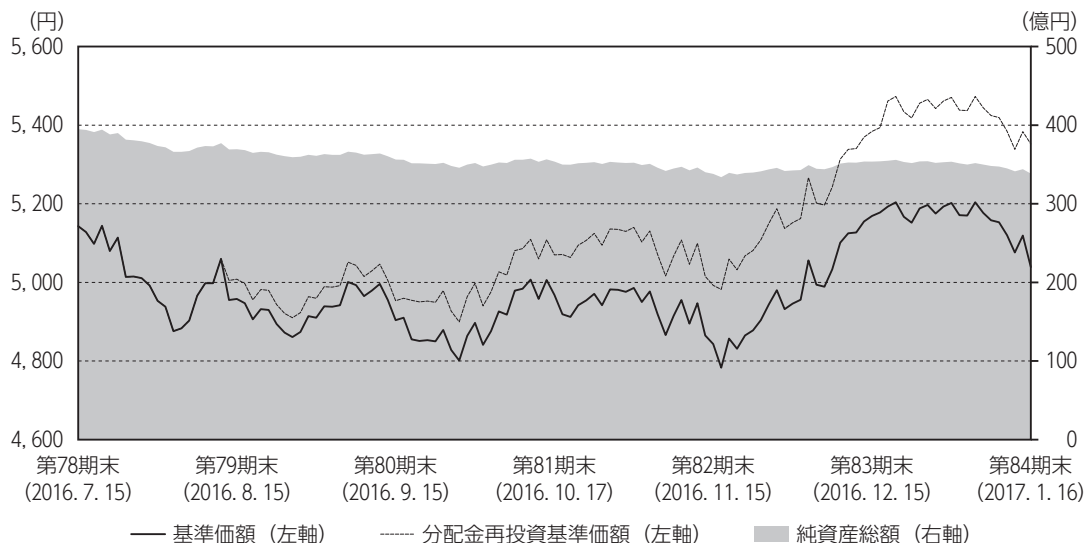
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第79期首：5,143円

第84期末：5,039円（既払分配金300円）

騰落率：4.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を通じて、新興国の債券に投資した結果、投資している債券の値下がりにはマイナス要因となった一方、各国の通貨が円に対して上昇したことや債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B IーE M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
		円	%		%	%
第79期	(期首) 2016年 7 月15日	5, 143	—	13, 075	—	95. 7
	7 月末	4, 992	△ 2. 9	12, 683	△ 3. 0	95. 8
	(期末) 2016年 8 月15日	5, 005	△ 2. 7	12, 766	△ 2. 4	95. 9
第80期	(期首) 2016年 8 月15日	4, 955	—	12, 766	—	95. 9
	8 月末	4, 939	△ 0. 3	12, 680	△ 0. 7	95. 0
	(期末) 2016年 9 月15日	4, 905	△ 1. 0	12, 605	△ 1. 3	94. 8
第81期	(期首) 2016年 9 月15日	4, 855	—	12, 605	—	94. 8
	9 月末	4, 841	△ 0. 3	12, 665	0. 5	94. 8
	(期末) 2016年10月17日	4, 969	2. 3	12, 919	2. 5	95. 0
第82期	(期首) 2016年10月17日	4, 919	—	12, 919	—	95. 0
	10月末	4, 950	0. 6	12, 963	0. 3	95. 0
	(期末) 2016年11月15日	4, 833	△ 1. 7	12, 407	△ 4. 0	94. 7
第83期	(期首) 2016年11月15日	4, 783	—	12, 407	—	94. 7
	11月末	4, 956	3. 6	12, 918	4. 1	95. 8
	(期末) 2016年12月15日	5, 243	9. 6	13, 870	11. 8	94. 5
第84期	(期首) 2016年12月15日	5, 193	—	13, 870	—	94. 5
	12月末	5, 170	△ 0. 4	13, 681	△ 1. 4	93. 5
	(期末) 2017年 1 月16日	5, 089	△ 2. 0	13, 534	△ 2. 4	94. 2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 7. 16 ～ 2017. 1. 16）

■新興国債券市況

新興国の債券市場は個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国での大統領選挙、欧米の金融政策などに振らされる展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスク、憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなど政治的な不透明感を背景に金利が上昇する局面もありましたが、2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利の上昇幅を縮小しました。ポーランドでは、政策金利の据え置きが続く中、欧州の金利上昇や米国の大統領選挙の結果などを受けて、金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和などにより金利が低下する局面もありましたが、米国の大統領選挙の結果を受けて、当作成期間を通して見ると金利は上昇しました。マレーシアでは、米国の大統領選挙の結果を受けて世界的に金利が上昇する中、同様に金利上昇となりました。インドでは、中央銀行の利下げや高額紙幣の廃止と両替制限を受けて銀行預金に資金が流入し、その運用先として国債が買われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政策金利が引き下げられたほか、歳出上限法案の進ちょくなどを受けて金利は低下しました。メキシコでは、トランプ新米国大統領がNAFTA（北米自由貿易協定）を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて金利は上昇しました。コロンビアでは、米国大統領選挙の結果を受けて金利が上昇する局面もありましたが、原油価格の上昇などを背景に、当期間を通して見ると金利は低下しました。

■為替相場

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国での利上げ観測が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながったことから、多くの通貨が対円で上昇しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、また対外ぜい弱性を背景に対円で

下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的な不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。ポーランド・ズロチは、2016年11月ごろまでは対円で一進一退の推移となり、その後は米ドル高円安を受けて、対円で上昇しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitは、日銀の金融政策をめぐる思惑などに左右され、当期間を通して見ると対円で下落しました。インドネシア・ルピアやインド・ルピーは円安の流れが進展する中、対円で上昇しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、歳出上限法案の進ちょくなどを受け、構造改革期待などを背景に、対円で上昇しました。コロンビア・ペソは、原油価格の反発が買い材料となったほか、円安を受けて対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

ポートフォリオについて

（2016. 7. 16 ～ 2017. 1. 16）

■当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

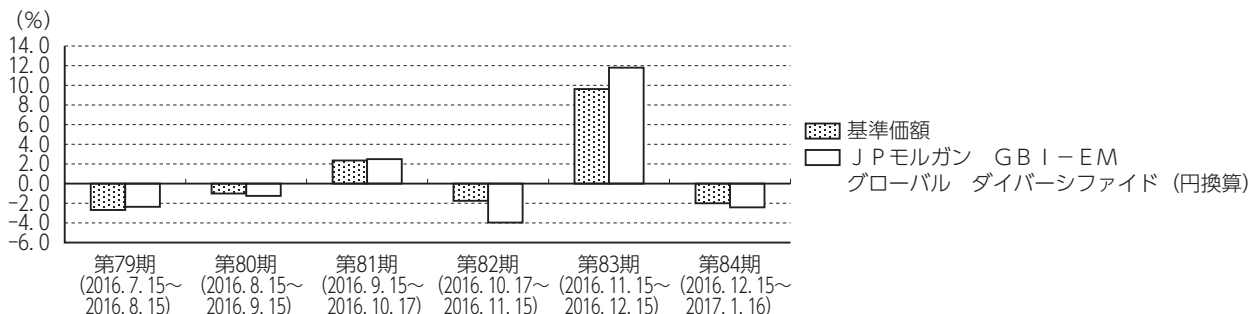
■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第79期から第84期の1万口当り分配金（税込み）は、それぞれ50円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2016年 7月16日 ～2016年 8月15日	2016年 8月16日 ～2016年 9月15日	2016年 9月16日 ～2016年10月17日	2016年10月18日 ～2016年11月15日	2016年11月16日 ～2016年12月15日	2016年12月16日 ～2017年 1月16日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（％）	1.00	1.02	1.01	1.03	0.95	0.98
当期の収益（円）	24	24	28	22	28	24
当期の収益以外（円）	25	25	21	27	21	25
翌期繰越分配対象額（円）	432	407	386	358	337	311

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 経費控除後の配当等収益	24.81円	24.44円	28.96円	22.12円	28.94円	24.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	457.77	432.63	407.12	386.16	358.35	337.39
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	482.58	457.07	436.08	408.28	387.30	361.58
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	432.58	407.07	386.08	358.28	337.30	311.58

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第79期～第84期 (2016. 7. 16～2017. 1. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0. 733%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4, 990円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 301)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0. 411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 079	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0. 075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	40	0. 811	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年7月16日から2017年1月16日まで)

決 算 期	第 79 期 ～ 第 84 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券 マザーファンド	—	—	6,026,021	7,191,113

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第79期～第84期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第78期末	第 84 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券マザーファンド	32,864,480	26,838,459	33,674,215

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年8月15日)、(2016年9月15日)、(2016年10月17日)、(2016年11月15日)、(2016年12月15日)、(2017年1月16日)現在

項 目	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
(A) 資産	37,410,138,626円	35,678,487,495円	35,437,996,191円	33,847,493,021円	35,945,552,066円	34,278,966,038円
コール・ローン等	591,431,836	581,341,638	564,340,625	568,992,505	576,575,837	553,348,793
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド（評価額）	36,735,819,833	34,976,689,245	34,817,149,011	33,219,516,792	35,308,236,664	33,674,215,263
未収入金	82,886,957	120,456,612	56,506,555	58,983,724	60,739,565	51,401,982
(B) 負債	499,602,097	525,371,472	452,783,682	462,740,292	467,741,215	439,959,753
未払収益分配金	372,444,756	362,040,370	355,625,208	348,970,955	341,584,400	335,761,116
未払解約金	80,236,196	118,349,821	51,940,384	73,073,067	84,213,371	58,641,044
未払信託報酬	46,741,129	44,621,573	44,671,494	39,979,624	41,050,647	44,474,063
その他未払費用	180,016	359,708	546,596	716,646	892,797	1,083,530
(C) 純資産総額（A－B）	36,910,536,529	35,153,116,023	34,985,212,509	33,384,752,729	35,477,810,851	33,839,006,285
元本	74,488,951,369	72,408,074,130	71,125,041,693	69,794,191,189	68,316,880,113	67,152,223,233
次期繰越損益金	△37,578,414,840	△37,254,958,107	△36,139,829,184	△36,409,438,460	△32,839,069,262	△33,313,216,948
(D) 受益権総口数	74,488,951,369口	72,408,074,130口	71,125,041,693口	69,794,191,189口	68,316,880,113口	67,152,223,233口
1万口当り基準価額（C／D）	4,955円	4,855円	4,919円	4,783円	5,193円	5,039円

* 第78期末における元本額は76,783,305,652円、当作成期間（第79期～第84期）中における追加設定元本額は1,756,542,279円、同解約元本額は11,387,624,698円です。

* 第84期末の計算口数当りの純資産額は5,039円です。

* 第84期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は33,313,216,948円です。

■投資信託財産の構成

2017年1月16日現在

項 目	第 84 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド	33,674,215	98.2
コール・ローン等、その他	604,750	1.8
投資信託財産総額	34,278,966	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝114.33円、1トルコ・リラ＝30.55円、1メキシコ・ペソ＝5.32円、100コロンビア・ペソ＝3.88円、1インド・ルピー＝1.69円、100インドネシア・ルピア＝0.86円、1ブラジル・レアル＝35.54円、1マレーシア・リンギット＝25.64円、1南アフリカ・ランド＝8.45円、1ポーランド・ズロチ＝27.73円です。

(注3) ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第84期末における外貨建純資産（36,642,849千円）の投資信託財産総額（38,323,586千円）に対する比率は、95.6%です。

ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）

■損益の状況

第79期 自 2016年 7月16日 至 2016年 8月15日		第80期 自 2016年 8月16日 至 2016年 9月15日		第81期 自 2016年 9月16日 至 2016年10月17日		第82期 自 2016年10月18日 至 2016年11月15日		第83期 自 2016年11月16日 至 2016年12月15日		第84期 自 2016年12月16日 至 2017年 1月16日	
項 目		第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期				
(A) 配当等収益	△ 10,546円	△ 8,724円	△ 8,806円	△ 7,983円	△ 9,776円	△ 9,724円					
受取利息	193	140	107	86	145	109					
支払利息	△ 10,739	△ 8,864	△ 8,913	△ 8,069	△ 9,921	△ 9,833					
(B) 有価証券売買損益	△ 979,996,033	△ 319,145,963	855,219,433	△ 556,954,616	3,176,978,549	△ 652,938,791					
売買益	29,669,928	8,652,022	862,658,999	8,435,325	3,217,157,320	4,220,960					
売買損	△ 1,009,665,961	△ 327,797,985	△ 7,439,566	△ 565,389,941	△ 40,178,771	△ 657,159,751					
(C) 信託報酬等	△ 46,921,145	△ 44,801,265	△ 44,858,382	△ 40,149,674	△ 41,226,798	△ 44,664,796					
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,026,927,724	△ 363,955,952	810,352,245	△ 597,112,273	3,135,741,975	△ 697,613,311					
(E) 前期繰越損益金	△ 16,895,185,604	△ 17,547,271,571	△ 17,715,551,819	△ 16,703,052,147	△ 17,003,053,914	△ 13,739,557,770					
(F) 追加信託差損益金	△ 19,283,856,756	△ 18,981,690,214	△ 18,879,004,402	△ 18,760,303,085	△ 18,630,172,923	△ 18,540,284,751					
(配当等相当額)	(3,409,895,603)	(3,132,610,915)	(2,895,647,233)	(2,695,188,725)	(2,448,166,361)	(2,265,683,971)					
(売買損益相当額)	(△ 22,693,752,359)	(△ 22,114,301,129)	(△ 21,774,651,635)	(△ 21,455,491,810)	(△ 21,078,339,284)	(△ 20,805,968,722)					
(G) 合計 (D + E + F)	△ 37,205,970,084	△ 36,892,917,737	△ 35,784,203,976	△ 36,060,467,505	△ 32,497,484,862	△ 32,977,455,832					
(H) 収益分配金	△ 372,444,756	△ 362,040,370	△ 355,625,208	△ 348,970,955	△ 341,584,400	△ 335,761,116					
次期繰越損益金 (G + H)	△ 37,578,414,840	△ 37,254,958,107	△ 36,139,829,184	△ 36,409,438,460	△ 32,839,069,262	△ 33,313,216,948					
追加信託差損益金	△ 19,471,480,207	△ 19,166,731,309	△ 19,028,591,937	△ 18,954,884,084	△ 18,774,010,749	△ 18,713,614,983					
(配当等相当額)	(3,222,272,152)	(2,947,569,820)	(2,746,059,698)	(2,500,607,726)	(2,304,328,535)	(2,092,353,739)					
(売買損益相当額)	(△ 22,693,752,359)	(△ 22,114,301,129)	(△ 21,774,651,635)	(△ 21,455,491,810)	(△ 21,078,339,284)	(△ 20,805,968,722)					
繰越損益金	△ 18,106,934,633	△ 18,088,226,798	△ 17,111,237,247	△ 17,454,554,376	△ 14,065,058,513	△ 14,599,601,965					

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
(a) 経費控除後の配当等収益	184,821,305円	176,999,275円	206,037,673円	154,389,956円	197,746,574円	162,430,884円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,409,895,603	3,132,610,915	2,895,647,233	2,695,188,725	2,448,166,361	2,265,683,971
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,594,716,908	3,309,610,190	3,101,684,906	2,849,578,681	2,645,912,935	2,428,114,855
(f) 分配金	372,444,756	362,040,370	355,625,208	348,970,955	341,584,400	335,761,116
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,222,272,152	2,947,569,820	2,746,059,698	2,500,607,726	2,304,328,535	2,092,353,739
(h) 受益権総口数	74,488,951,369口	72,408,074,130口	71,125,041,693口	69,794,191,189口	68,316,880,113口	67,152,223,233口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2017年1月16日)

(計算期間 2016年7月16日～2017年1月16日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの第18期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運 用 方 法	①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。 ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。 ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。 ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでB B -以上）とします。 ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

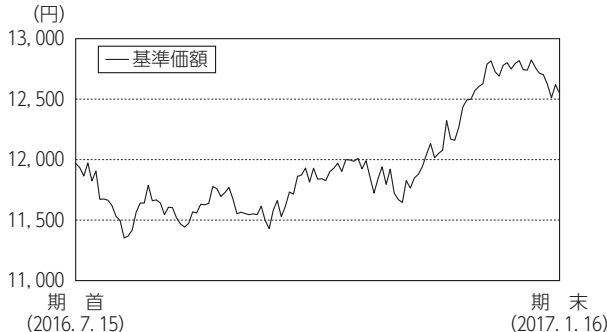
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		J P モルガン G B I - E M グロ ー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2016年 7 月15日	11, 968	—	13, 363	—	96. 1
7 月末	11, 620	△ 2. 9	12, 963	△ 3. 0	96. 3
8 月末	11, 630	△ 2. 8	12, 960	△ 3. 0	95. 4
9 月末	11, 528	△ 3. 7	12, 944	△ 3. 1	95. 3
10 月末	11, 924	△ 0. 4	13, 249	△ 0. 9	95. 5
11 月末	12, 077	0. 9	13, 204	△ 1. 2	96. 2
12 月末	12, 740	6. 5	13, 983	4. 6	93. 9
(期末) 2017年 1 月16日	12, 547	4. 8	13, 833	3. 5	94. 6

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) J P モルガン G B I - E M グロ ー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円換算) は、J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グロ ー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和投資信託が計算したものです。J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ グロ ー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11, 968円 期末：12, 547円 騰落率：4. 8%

【基準価額の主な変動要因】

新興国の債券に投資した結果、投資している債券の値下がりにはマイナス要因となった一方、各国の通貨が円に対して上昇したことや債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国の債券市場は個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国での大統領選挙、欧米の金融政策などに振られる展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスク、憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなど政治的不透明感を背景に金利が上昇する局面もありましたが、2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利の上昇幅を縮小しました。ポーランドでは、政策金利の据え置きが続く中、欧州の金利上昇や米国の大統領選挙の結果などを受けて、金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和などにより金利が低下する局面もありましたが、米国の大統領選挙の結果を受けて、期を通して見ると金利は上昇しました。マレーシアでは、米国の大統領選挙の結果を受けて世界的に金利が上昇する中、同様に金利上昇となりました。インドでは、中央銀行の利下げや高額紙幣の廃止と両替制限を受けて銀行預金に資金が流入し、その運用先として国債が買われたことなどを背景に、金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政策金利が引き下げられたほか、歳出上限法案の進捗よくなどを受けて金利は低下しました。メキシコでは、トランプ新米大統領がN A F T A (北米自由貿易協定) を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて金利は上昇しました。コロンビアでは、米国大統領選挙の結果を受けて金利が上昇する局面もありましたが、原油価格の上昇などを背景に、期を通して見ると金利は低下しました。

○為替相場

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国での利上げ観測が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながったことから、多くの通貨が対円で上昇しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、また対外ぜい弱性を背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。ポーランド・ズロチは、2016年11月ごろまでは対円で一進一退の推移となり、その後は米ドル高円安を受けて、対円で上昇しました。

・アジア地域

マレーシア・リンギットは、日銀の金融政策をめぐる思惑などに左右され、期を通して見ると対円で下落しました。インドネシア・ルピアやインド・ルピーは円安の流れが進展する中、対円で

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

上昇しました。
・中南米地域
ブラジル・レアルは、歳出上限法案の進捗などを受け、構造改革期待などを背景に、対円で上昇しました。コロンビア・ペソは、原油価格の反発が買い材料となったほか、円安を受けて対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 （保管費用） （その他）	9 (9) (0)
合 計	9

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
（注2）各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年7月16日から2017年1月16日まで)

			買 付 額	売 付 額
外	トルコ	国債証券	千トルコ・リラ 35, 385	千トルコ・リラ 89, 028 (—)
		特殊債券	35, 673	(—)
	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 424, 575	千メキシコ・ペソ 330, 233 (178, 900)
	コロンビア	国債証券	千コロンビア・ペソ 6, 323, 210	千コロンビア・ペソ 26, 993, 949 (—)
	インド	国債証券	千インド・ルピー 335, 220	千インド・ルピー 802, 885 (—)
	インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア 51, 070, 000	千インドネシア・ルピア 53, 135, 000 (—)
		特殊債券	—	89, 867, 800 (—)
	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 44, 904	千ブラジル・レアル 86, 014 (—)
	マレーシア	国債証券	千マレーシア・リンギット 69, 279	千マレーシア・リンギット 83, 267 (—)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 70, 543	千南アフリカ・ランド 181, 137 (87, 000)
特殊債券		34, 372	(—)	
国	ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ 5, 399	千ポーランド・ズロチ 18, 686 (—)

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注2）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注3）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年7月16日から2017年1月16日まで)

当		期	
買		売	
付		付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	1,718,467	Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	1,855,903
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2023/1/1	1,457,358	Turkey Government Bond (トルコ) 8.2% 2016/11/16	1,531,027
MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.378% 2019/11/29	1,319,580	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.262% 2016/9/15	1,371,096
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 8.5% 2017/9/19	651,505	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/7/1	1,223,068
Mexican Bonos (メキシコ) 5% 2017/6/15	641,063	India Government Bond (インド) 7.28% 2019/6/3	902,626
India Government Bond (インド) 8.17% 2044/12/1	526,295	Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2019/3/27	798,061
Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2019/3/27	523,871	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	775,084
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	510,737	Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2017/3/8	662,601
MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.659% 2020/10/15	433,218	Colombian TES (コロンビア) 11.25% 2018/10/24	639,797
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 13.625% 2017/5/9	356,878	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.394% 2017/3/15	607,861

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作 成 期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
トルコ	千トルコ・リラ 109,000	千トルコ・リラ 107,621	千円 3,287,822	% 8.7	% —	% 2.3	% 2.4	% 4.1
メキシコ	千メキシコ・ペソ 682,000	千メキシコ・ペソ 667,166	3,549,326	9.4	—	0.7	2.7	6.0
コロンビア	千コロンビア・ペソ 103,000,000	千コロンビア・ペソ 107,698,580	4,178,704	11.1	—	0.5	—	10.6
インド	千インド・ルピー 2,350,000	千インド・ルピー 2,449,625	4,139,866	11.0	—	2.5	8.5	—
インドネシア	千インドネシア・ルピア 472,800,000	千インドネシア・ルピア 474,446,874	4,080,243	10.8	—	2.3	—	8.5
ブラジル	千ブラジル・レアル 125,000	千ブラジル・レアル 117,706	4,183,279	11.1	—	4.3	4.2	2.6
マレーシア	千マレーシア・リンギット 161,000	千マレーシア・リンギット 162,573	4,168,391	11.1	—	—	4.6	6.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 456,000	千南アフリカ・ランド 463,199	3,914,033	10.4	—	1.5	—	8.9
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 145,000	千ポーランド・ズロチ 150,299	4,167,806	11.1	—	0.4	5.6	5.1
合計	—	—	35,669,475	94.6	—	14.5	28.0	52.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄		種 類	年利率	額 面 金 額	未		償還年月日
							評 価 額		
							外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
トルコ		Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	2019/03/27
		Turkey Government Bond	国債証券	10.4000		30,000	29,670	906,418	2024/03/20
		Turkey Government Bond	国債証券	10.6000		19,000	18,202	556,071	2026/02/11
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	8.5000		10,000	9,700	296,335	2017/09/19
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250		20,000	20,159	615,881	2017/05/09
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.2500		24,000	24,172	738,479	2018/07/20
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	0.5000		4,000	3,899	119,141	2017/12/19
通貨小計	銘柄数	7銘柄							
	金 額					109,000	107,621	3,287,822	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	7.7500		千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ		2017/12/14
		Mexican Bonos	国債証券	7.7500		300,000	303,117	1,612,582	2031/05/29
		Mexican Bonos	国債証券	5.0000		52,000	51,102	271,865	2017/06/15
		Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500		120,000	119,245	634,384	2021/11/24
通貨小計	銘柄数	4銘柄							
	金 額					682,000	667,166	3,549,326	
コロンビア		Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500		千コロンビア・ペソ	千コロンビア・ペソ		2027/06/28
		Colombian TES	国債証券	5.0000		4,000,000	4,770,000	185,076	2018/11/21
		Colombian TES	国債証券	11.2500		47,000,000	46,384,300	1,799,710	2018/10/24
通貨小計	銘柄数	3銘柄							
	金 額					52,000,000	56,544,280	2,193,918	
インド		India Government Bond	国債証券	7.2800		千インド・ルピー	千インド・ルピー		2019/06/03
		India Government Bond	国債証券	8.8300		1,850,000	1,889,035	3,192,469	2023/11/25
		India Government Bond	国債証券	8.1700		200,000	222,820	376,565	2044/12/01
						300,000	337,770	570,831	
通貨小計	銘柄数	3銘柄							
	金 額					103,000,000	107,698,580	4,178,704	
インドネシア		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.2500		千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア		2036/05/15
		Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500		20,000,000	20,533,600	176,588	2044/02/15
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.7500		30,000,000	30,711,300	264,117	2017/12/04
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.2000		50,000,000	49,588,500	426,461	2022/03/01
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500		55,000,000	49,550,050	426,130	2017/08/22
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	10.0000		23,000,000	23,000,230	197,801	2018/11/16
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	8.3500		140,000,000	146,249,600	1,257,746	2017/06/01
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500		5,800,000	5,804,234	49,916	2017/07/17
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2000		79,000,000	79,026,860	679,630	2018/01/22
						70,000,000	69,982,500	601,849	
	通貨小計	銘柄数	9銘柄						
金 額						2,350,000	2,449,625	4,139,866	
ブラジル		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000		千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル		2021/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000		20,000,000	20,533,600	176,588	2044/02/15
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—		30,000,000	30,711,300	264,117	2017/12/04
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—		50,000,000	49,588,500	426,461	2022/03/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—		55,000,000	49,550,050	426,130	2017/08/22
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—		23,000,000	23,000,230	197,801	2018/11/16
通貨小計	銘柄数	5銘柄							
	金 額					472,800,000	474,446,874	4,080,243	

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
マレーシア		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2400	千マレーシア・リンギット 20,000	千マレーシア・リンギット 20,227	千円 518,625	2018/02/07
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.3780	50,000	51,175	1,312,127	2019/11/29
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.5800	4,000	4,020	103,095	2018/09/28
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.2600	70,000	70,133	1,798,228	2018/03/01
		MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.6590	17,000	17,017	436,315	2020/10/15
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金 額				161,000	162,573	4,168,391	
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 126,000	千南アフリカ・ランド 126,442	1,068,437	2017/09/15
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	60,000	60,223	508,891	2018/12/21
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	60,000	67,320	568,854	2026/12/21
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.0000	15,000	14,693	124,156	2017/10/04
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	5.5200	25,000	24,737	209,027	2017/06/28
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	6.6250	75,000	74,036	625,606	2017/12/05
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	75,000	76,037	642,514	2018/12/21
		African Development Bank	特殊債券	6.6250	20,000	19,709	166,546	2017/12/09
		通貨小計	銘柄数	8銘柄				
金 額					456,000	463,199	3,914,033	
ポーランド		Poland Government Bond	国債証券	5.2500	千ポーランド・ズロチ 67,000	千ポーランド・ズロチ 68,902	1,910,674	2017/10/25
		Poland Government Bond	国債証券	5.5000	48,000	52,008	1,442,181	2019/10/25
		Poland Government Bond	国債証券	1.5000	25,000	24,190	670,788	2020/04/25
		Poland Government Bond	国債証券	4.0000	5,000	5,198	144,161	2023/10/25
		通貨小計	銘柄数	4銘柄				
金 額					145,000	150,299	4,167,806	
合 計	銘柄数	48銘柄						
	金 額						35,669,475	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年 1月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 35,669,475	% 93.1
コール・ローン等、その他	2,654,111	6.9
投資信託財産総額	38,323,586	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝114.33円、1トルコ・リラ＝30.55円、1メキシコ・ペソ＝5.32円、100コロンビア・ペソ＝3.88円、1インド・ルピー＝1.69円、100インドネシア・ルピア＝0.86円、1ブラジル・リアル＝35.54円、1マレーシア・リンギット＝25.64円、1南アフリカ・ランド＝8.45円、1ポーランド・ズロチ＝27.73円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (36,642,849千円) の投資信託財産総額 (38,323,586千円) に対する比率は、95.6% です。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年 1月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	39,387,601,782円
コール・ローン等	2,089,876,657
公社債（評価額）	35,669,475,006
未収入金	1,066,317,542
未収利息	507,720,601
前払費用	54,211,976
(B) 負債	1,692,688,887
未払金	1,640,726,866
未払解約金	51,962,021
(C) 純資産総額（A－B）	37,694,912,895
元本	30,043,161,283
次期繰越損益金	7,651,751,612
(D) 受益権総口数	30,043,161,283口
1万口当り基準価額（C／D）	12,547円

- * 期首における元本額は36,412,853,392円、当期中における追加設定元本額は38,182,658円、同解約元本額は6,407,874,767円です。
- * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）26,838,459,603円、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（年1回決算型）328,199,297円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）2,869,604,303円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（年1回決算型）6,898,080円です。
- * 当期末の計算口数当りの純資産額は12,547円です。

■損益の状況

当期 自2016年 7月16日 至2017年 1月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,479,854,765円
受取利息	1,479,421,796
その他収益金	604,232
支払利息	△ 171,263
(B) 有価証券売買損益	270,451,292
売買益	2,281,614,477
売買損	△ 2,011,163,185
(C) その他費用	△ 30,450,324
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,719,855,733
(E) 前期繰越損益金	7,165,328,909
(F) 解約差損益金	△ 1,241,805,228
(G) 追加信託差損益金	8,372,198
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	7,651,751,612
次期繰越損益金（H）	7,651,751,612

- （注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- （注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。